

# 私が思うこと

今回は小・中学校で、子どもたちの育ちにご尽力いただいているお二人の先生にそれぞれの思いを語っていただきました。

地域の温かさが未来へ広がる

坂祝小学校

山路 翔吾



私は、岐阜市から毎朝、通勤して来る。この時期になるとまだ日が昇っていない時間帯に家を出る。ようやく、坂祝の辺りを通る頃に日の出となる。太陽の光と共に、緑のジャケットを着た見守り隊の方が子ども達と一緒に歩いている光景が目に入ってくる。坂祝小の子達の中には、五十分かけて登校してくる子たちもいるが、毎朝元氣よく挨拶をしてくれる。きっとそれは、学校を支えてくれている地域の力によって元氣よく登校してくれているのだと思う。

日クラスの子も達と一緒に議会見学に行かせてもらった。その頃、社会科の学習で町民からの願いはどのように実現するかという学習を行った。勉強している最中だったため、子ども達はこの議会見学を楽しみにしていた。わくわくした表情をして議場に入ると、厳肅な雰囲気にも、子ども達の表情が一転して緊張を浮かべていた。そんな中で子どもは、議会の様子をしつかりと記録していた。それから、学校に戻り、私は、自分たちの小学校の行事もあの議会で話し合っていて、支援されることになったのかもしれないと話すと、ふるさとめぐり学習や修学旅行のことも議会で話し合われて実現されたのかなとつぶやいていた。その後の感想には、こう書かれていた。「議員さんたちは、坂祝町や町民のために話し合ってくれていることが分かります。僕たちも坂祝町のためにできることを考えたいです」と。

きっと、こういった気持ち

続けていけば、この坂祝町がよりよくなると思っただ。私は、今後もそんな子ども達を育てていきたい。

中学生議会を通して

坂祝中学校

松川 直生



社会科の教員で、今年度は生徒会の担当として、十月に行われた中学生議会に関わらせていただきました。

まず、全校生徒から坂祝町の政策や課題に対する質問や要望を集め、それを生徒会執行部の生徒たちが精選し、九つの質問にまとめました。「坂祝町をあいさつがあふれる町に」、「町民の憩いの場となる広場の建設について」など、生徒たちが、自分が暮らす坂祝町をよりよくしたいという思い

で一生懸命に質問を考え選ぶ姿に、将来、町を支えていくたくましさを感じました。

中学生議会当日は、中学生の質問に対して、町議会議員の皆様が町の現状や将来を踏まえ、熱心に答弁してくださいました。中学生議員の生徒たちはこの答弁を通して、これまでより広い視野で町や自分たちの将来を考えることができました。

さらに、十二月には中学生議会で質問した「幅広い年代の方が交流できる行事について」を受けて、「ふれあいグラウンドゴルフ大会」が開かれました。三十名を越える中学生が自主的に参加し、小学生や高齢者の方々とグラウンドゴルフを楽しみました。一緒に教え合ったり喜び合ったりして、大会中は終始温かい雰囲気にも包まれた笑顔あふれるすばらしい行事となりました。

社会科の地方自治の学習で「地方自治は民主主義の学校」という言葉を教えます。地域の政治に参加することを通して住民が民主主義を学び、その実現に必要な能力を養う場であるという意味で

す。私自身、今回の中学生議会やふれあいグラウンドゴルフ大会を通して、この言葉を体感することができました。生徒たちは今回の経験を通して、坂祝町はもちろん、日本の将来を支える担い手として、大きな一歩を踏み出しました。今後、坂祝中の教員として、坂祝の子どもたちの活躍や成長に少しでも貢献できるように、努力していきます。

## 編集後記

町民の皆様には、健やかに新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。

あと少しで「平成」も新しい元号に変わります。また、統一地方選挙も間近です。

ぜひ、坂祝町のことをより一層考える年にしたいと思えます。

## 広報編集委員会

委員長 松田 和樹  
副委員長 河村 利道  
委員 飯田 正仁  
柴山 佳也